

## ◎本会の動き◎

### ☆第6回上席化学工学技士交流会(大阪)に参加して☆

去る7月8日(金)、大阪科学技術センターにて、上席化学工学技士交流会(大阪)が開催されました。今回で第6回目の開催となった本交流会には、初参加の方も含めて10名の上席化学工学技士の方々が参加されました。恒例となっている会冒頭での自己紹介からスタート。皆さん近況報告を語るうちに、徐々に滑舌も直しくなり、前回から半年ぶりとの時間の壁も一気に取り払われたような雰囲気となりました。続いて、東亜合成株式会社の守谷聡様より「化学プラントの事故事例紹介～ハード面とソフト面の原因とその背景にあったもの～」という題材で話題提供がありました。自社のものを含めて実際の事故事例を題材にして、事故に至った経緯、事故原因の本質、対応の振り返り、反省すべき点などを具体的に写真や解析データなどを示しながら解説いただきました。安全教育のあり方、プラント研究段階で安全の限界を把握するためにどこまで攻め込んだ検討を行うべきかについて意見交換を行い、また正確な事故分析のための実験やそれらを裏付けるためのシミュ

レーションの御紹介には皆さんの関心も高く、もう少しこういったところまで踏み込んで分析してみたらどうでしょうか、など真剣な議論を交わしながらあっという間に時間が過ぎていきました。企業という垣根を越えて、より良い技術を作り上げ、またその伝承を図っていききたい(今回の場合は「安全」という熱い思いをもって交流できる、これがこの上席化学工学技士交流会の良いところだと思います。夕方からは場所を移して、アルコールで更に口を滑らかにして議論が大いに盛り上がりました。

毎回、決まった答えが無い話題に対し、参加者の皆さんが日々悩みながらも取り組んでいる事例を相互に紹介、共有化して話し込む事で、会が終わった時には何か新しいアイデアが湧いている、そのような会を目指しておりますが、これまでの6回の交流会で実際にその狙い通りに活動できていると実感しています。もう少しフリー討議の時間を延ばしたいとの思いが正直なところで

この会には、上席化学工学技士の方ならばどなたでも参加できますので、まだ参加されておられない方も次回以降の本会に参加頂き、種々のディスカッションを通じて日々の困り事に新しい切り口を見出してください。現参加者一同、お待ちしております。お気軽に参加ください。

((株)カネカ 上田正博)